

競技に関する注意事項

1 コロナウィルス感染拡大防止対策

- (1) 今大会は無観客とし、競技場へ入場できるのは、各団体の代表、選手、マネージャー、競技役員のみとする。競技場またはウォーミングアップ場へ入場する場合は体調管理チェックシートの提出が必要となる。競技場では必ずマスクを着用し、密を避ける。
- (2) ①本大会1週間前から今大会用の「大会前・提出用 体調管理チェックシート」を記入する。
②競技場に着いたら最初に選手・代表・マネージャーは1階正面玄関ウッドデッキで必ず体調管理チェックシートの提出と検温を行う。このチェックを受けなければ、本競技場、ウォームアップ場への入場や招集を行うことができない。
③選手は、体調管理チェックシートの提出と検温を行った際に、ID（リストバンド）を受け取ること。IDは競技中も含め必ず着用する。
④各団体の代表とマネージャーは、体調管理チェックシートを提出した際、入場IDを配布する。IDは、競技場とウォーミングアップ場の入退場に使用する。（競技役員は審判員証でよい。）競技場へはメインスタンド出入口から入退場（選手も含む）する。（※各団体の最大発行IDは4枚とする。）
⑤IDに不正があった場合は、選手は出場を認めない。代表、マネージャーはIDを無効とする。また、再発行は行わない。
⑥大会当日に出場できない選手がいる場合は、競技者係（招集場）に欠場届を提出するか口頭で申し出る。
⑦大会後の2週間についても「大会後・自己管理用 体調管理チェックシート」を記録する。
- (3) 出場する種目の競技開始2時間前から競技場への来場を認める。それよりも早く競技場へ来場しない。
- (4) 正面スタンドについては特に席を指定しないが、密を避けて座る。
- (5) 声を出しての応援は個人、集団問わず禁止する。
- (6) ウォーミングアップや自身の競技の最中以外はマスクを着用し、密を避ける行動をする。
- (7) 更衣室については、使用する際は1階正面玄関入り口から入り、IDを提示し受付を行い使用することができる。ただし、シャワーの使用は不可とし、更衣のみの使用とする。使用状況によっては、人数を調整する。
- (8) 競技終了後は必ず手洗いや洗顔などを行い、消毒を実施し、新型コロナウイルスの感染予防に努める。

2 競技会全般に関して

1. 本大会は2021年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
本大会のスタート動作における競技規則は、国内ルールを適用する。
2. 各団体代表者(学校については引率教員もしくは保護者)は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませておく(受付がない場合、競技者は競技に出場できない)。もし、大会に出場しない選手がいる場合は、この際に競技者係(招集場)へ欠場届を提出するか口頭で申し出る。
3. 招集所、招集時間について
 - (1) 招集所は、1階正面玄関ウッドデッキで行う。必ずIDを提示すること。
 - (2) 招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。
 - (3) 1階正面玄関ウッドデッキを控え場所として使用しない。(緊急時には、避難場所として使用する。)
4. ウォーミングアップについて
ウォーミングアップの実施は競技開始2時間前から可能とする。
 - (1) 本競技場
本競技場内でのウォーミングアップは禁止とする。
ただし、競技準備に支障をきたさない限り8:40~9:40の間本競技場を使用することができる。
入退場はA・Bのゲートを使用すること。
 - (2) ウォーミングアップ場(多目的広場)
 - ①終了時刻は最終種目招集開始時刻までとする。
 - ②スパイクを利用しての練習は実施できない。

- ③他人の怪我につながる可能性のある行為はしない。
- ④出場種目の2時間前から最終コールまで使用可とする。
- ⑤本競技場で入場受付を済ませたIDを所持した人のみ入場可能とする。

5. 施設設備の使用について

今大会では競技終了後の清掃当番がないので、各自で出したごみは必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。

6. 写真及びビデオ撮影について

肖像権の法に触れる行為に関して、個人で記録したものを無断でネット上にアップロードしない。

7. Live 配信について (試験)

今大会は、今後に向けて YouTube によるライブ配信を行う予定である。

3 競技に関して

1. アスリートビブス (ナンバーカード) について

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。
- (2) 招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方に、明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。

2. 競技について

- (1) 走路順は、プログラム記載順とする。
- (2) 競技者の変更はいっさい認めない。
- (3) 使用器具は、原則として競技場備えつけのものを使用する。
- (4) 全天候走路なので、スパイクのピンの長さは9mm以下とする。

(5) WA 規則 TR5.2~TR5.6のルール再改訂における本大会での適用について

本大会は、標記の規則を適用して実施する。招集所にて、靴の確認を行なう。

他については、WA の HP テクニカルインフォメーションに使用可能な靴のリストがある。

種 目	靴底最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (除:三段跳)	20mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く長さを競う跳躍種目に適用。全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (Hを含) (800m未満)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走含む) (800m 以上)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。ンテ
クロスカントリー	25mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

【選手の動線について】

1. 競技場内にはそれぞれ指定されたゲート（招集後入場口）から入退場する。また、メインスタンド下および屋内通路は通行しない。
2. 入場の際はIDと腰ゼッケン（リレー競技は除く）を提示する。指定されていないグラウンドレベルへ通じるゲートは封鎖する。
3. 競技場内を通過する際には、競技運営に支障が無いように十分配慮すること。
4. トラック種目はゴール付近に設置した腰ナンバーカード回収所で腰ナンバーカードを返却し、荷物置き場に戻る。その際遠回りでも、グラウンドを一周する。
6. 競技終了後速やかに競技場外へ退出する。
8. 記録の掲示は行わないので、記録速報ページで記録を確認する。アナウンスによる上位記録の発表は行う。
9. 荷物置き場について
荷物置き場は競技に臨む最低限の荷物を置く場所とする。競技運営上支障のない場所で、密にならないようにする。